

三島森田病院

第14回 ホスピタリティ コンサート

音楽療法として、言葉を介さず一流の音楽により、心と身体の調子を整え
感動を体験することを目的としてコンサートを開催します

西本 夏生
Piano Concert

Program

- J.S.バッハ：ゴールドベルク変奏曲より「アリア」
- C.ドビュッシー：ベルガマスク組曲 1.前奏曲 2.メヌエット 3.月の光 4.パスピエ
- E.グラナドス：スペイン舞曲集より「アンダルーサ」
- I.アルベニス：組曲「エスパーニャ」より 第2曲 タンゴ
- P.ヒメノ：ディアベリのために ～エリーゼのためにラテンアレンジ～
- G.ガーシュウィン：ラブソディーインブルー（ピアノソロ版）



西本 夏生 / ピアノ

2026.3.23(月)

開場 13:30 開演 14:00

長泉町文化センター

ベルフォーレ ホール

入場無料 全席自由 事前申込等不要です

入場対象者 乳幼児を含めどなたでも入場できます

◎お問い合わせ先 三島森田病院 TEL：055-986-3337



■ 主催 三島森田病院 ■ 後援 長泉町

三島森田病院の森田療法とは

森田療法は、東京慈恵会医科大学 精神科の初代教授であった森田正馬（もりたまさたけ）が105年前に創始した神経症（不安症・強迫症等）に対する日本発の精神療法であり、現在の当病院の理事長・院長 森田正哉はその曾孫にあたります。本療法は薬物によらず症状を「あるがまま」に受け入れることで健康な日常生活を回復させていきます。本療法では、神経症の根底にある不安や死の恐怖は自然な感情であり、より良く生きようとする人間本来の欲望（生の欲望）と表裏一体の関係にあるものと理解します。にもかかわらず神経症の患者さんは、自己の不安を排除することに努力を傾ける結果、かえって不安が増幅し症状にとらわれていきます。本療法の核心は、このようなとらわれを打破することであり、太陽の光を浴び土に勤しむ農業や工芸を通じて生活のリズムを取り戻し、患者さんが自己の不安も生の欲望も自然な人間性として受容し、「あるがまま」の自己を現実にならしていかれるよう治療していきます。尚、当初は神経症が対象とされておりましたが、ストレスの多い現代社会において薬物療法では限界のある難治といわれる多彩な症状に対しても、病態によっては本療法の効果が確認されております。

出演者 Profile

西本 夏生（にしもと なつき）ピアノ



北海道富良野市出身。早稲田大学、東京藝術大学大学院を経てスペインに留学。ESMUC およびカステジョン高等音楽院修士課程修了。第1回サン・ジョヴァンニ・テアッティーノ国際ピアノコンクール（伊）第1位等、数多くの国際コンクールにて入賞を果たす。

作曲家 故ニコライ・カプースチンと直接交流を持った数少ない日本人ピアニストの一人で op. 145・146 のデュオ作品の献呈を受ける。2017年には S. プロトンス指揮、バルセロナ市ウィンドオーケストラとの共演でカプースチン「ピアノ協奏曲第6番」欧州初演を行う。2021年にはピアノデュオ piaNA 名義で「1122～カプースチン 4 手のためのピアノ作品集～」をリリース。

また、スペイン人作曲家 パスカル・ヒメノの「演奏会用リズム・エチュード 第1集・第2集」を2020年に世界初録音し、国際的に紹介しており、クラシック音楽ながら JAZZ 的要素のある鮮烈なピアニズムが注目される。2023年には青柳いづみことのピアノデュオ CD「Caprice～気まぐれ～」(ALM Records) をリリース。PMF、Pòdium Matadepera（西）、Piano Pic（仏）等の音楽祭に出演。国内外にて幅広く活動が続けている。

近年は YouTube 配信「アミーゴな夜」やレクチャー活動を通じて「心にまっすぐ届くクラシック」をテーマに、新しい音楽体験を届けている。

Official HP : <http://www2.furano.jp/natsuki/>

YouTube : <https://www.youtube.com/@NATSUKINISHIMOTO>

- ・第15回公演：2026年6月2日(火) ピアノ ソロ（三島市民文化会館 大ホール）
- ・第16回公演：2026年8月25日(火) チェロ&ピアノ（三島市民文化会館 大ホール）